

石井光春さん（54期）を悼む

上原 昇（65期）

元関東同窓会会長の石井光春さん（54期）が11月15日に亡くなりました。最近では体調を崩されて、同窓会の集まりにも欠席が続いていましたが、80歳を過ぎてもお元気でゴルフもやっていただけに、訃報を聞き、とても残念な気持ちです。石井さんは2002年6月、第14代関東同窓会会長に就任、退任後はずっと相談役を務めていました。私も石井会長時代、副幹事長の末席を汚していたので、お付き合いは20年を超えていました。

石井さんは住友商事に入社して、米国などの海外駐在が長かったこともあり、その言動・姿勢はフランクで、当時やや古臭く日本的縦社会の同窓会の体質改善と近代化に尽力されました。

会長就任早々には、同窓会員交流を目的にしたゴルフ同好会を立ち上げ、同年12月には第1回同窓会ゴルフコンペを茨城県で行いました。

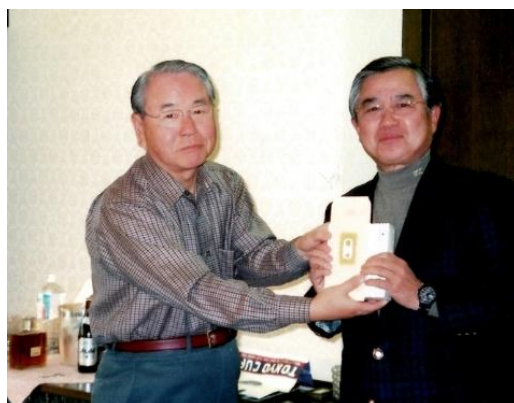
石井さんご自身もゴルフが大好きで、その腕前も大したものでした。

【写真】

私も当初からコンペに参加して、2006年から7年間、ゴルフ同好会の幹事を務め、最盛期には40名を超える仲間を集めたことも、石井さんを巡る懐かしい思い出です。それから20数年経った今でも同窓会ゴルフコンペは続いていて、多くのゴルフ愛好家が同窓会シンパになっています。

石井さんは相談役に退いてからも、同窓会の幹事会、総会、赤松小三郎研究会などのイベントや活動に積極的に参加されて、時には現役役員の困りごと相談にも乗っていました。私も会長時代に数々のアドバイスをいただきました。

同窓会の歴史に大きな足跡を残した大先輩の旅立ちに、合掌。



（2002年、同窓会ゴルフコンペで石井さん：左）

（2025年11月20日記）

以上